

# 南本宿地区

# 幼保小連携推進地区

## 令和6年度



推進テーマ

連携を密にして交流の機会の創造を図る



## 横濱あんじゅ保育園

## 南本宿小学校

南本宿小 推進地区テーマの理由

連携を密にして

交流の機会の創造を図る

**「気軽に」交流できる関係性を作ること、  
連携推進地区事業が終わっても、交流を  
継続できる関係づくりが肝要である。  
当たり前のよう交流していかれるように、  
テーマを設定した。**

# 交流事業計画

時 期	内 容
6月/7月/12月/2月	<b>交流会</b> /公園や学校での遊び
7月/9月/10月/11月 から2回	<b>給食交流</b> /学校給食の試食
7月下旬	<b>水泳体験</b> /園児の学校プール体験
8月下旬	<b>保育参観</b> /学校職員が保育体験
9月/10月	<b>運動会参観</b>
年間	<b>ちよこっと交流</b> /図書館、校庭遊び、ボッチャ
5月/7月/2月	<b>推進委員会</b>

# 今年度の重点課題

## 【給食体験】

6日の候補  
日から計画

他の学年が学校外で体験学習などを行う日は、  
園児の給食体験が可能になる。

※ 7月2～3日、9月●日、10月8日、11月7～8日

\*年長園児：20名

第1回	月 日 ( )	・1年生と交流
第2回	今年は1回	2回できると より効果的

# 【給食体験】

メニュー

1年生と 24名体験



## 献立

11月7日 (火)

ごはん 豚肉と野菜のしょうが炒め かきたま汁 みかん 牛乳



<b>7</b>	ごはん	ぎゅうにゅう	
	ぶたにくとやさいのしょうがいため	かきたま汁	
	かきたまじる	みかん	
	●豚肉と野菜のしょうが炒め	●かきたま汁	
	豚肉 30	鶏卵 25	
	キャベツ 30	絹ごし豆腐 15	
	たまねぎ 25	ねぎ 10	
	にんじん 10	ごまつな 9	
	しょうが 1.2	しょうゆ 0.75	
	米油 0.7	酒塩 0.5	
	しょうゆ 1.8	酒塩 0.8	
	みりん 0.8	でんぷん 0.8	
	酒塩 1	削り節・水 110	
	でんぷん 0.2	●みかん 1個	
	水 1.5		
エネルギー 579kcal たんぱく質 23.3g 脂質 16.2g			



【水泳体験】

# 今年も立案のみ

7月29日（月）～7月31日（水）

夏季休業&水泳指導なし の環境を生かして  
「地獄のシャワー」を含めた、広いプール体験。

\* 水位を低学年用にしておく。



それぞれに  
遊べるよう購入

NEW

ボッチャで遊ぼう

# ボッチャで遊ぼう

保育園、小学校でそれぞれ遊んで



2月の交流会で一緒に遊ぶ（予定）

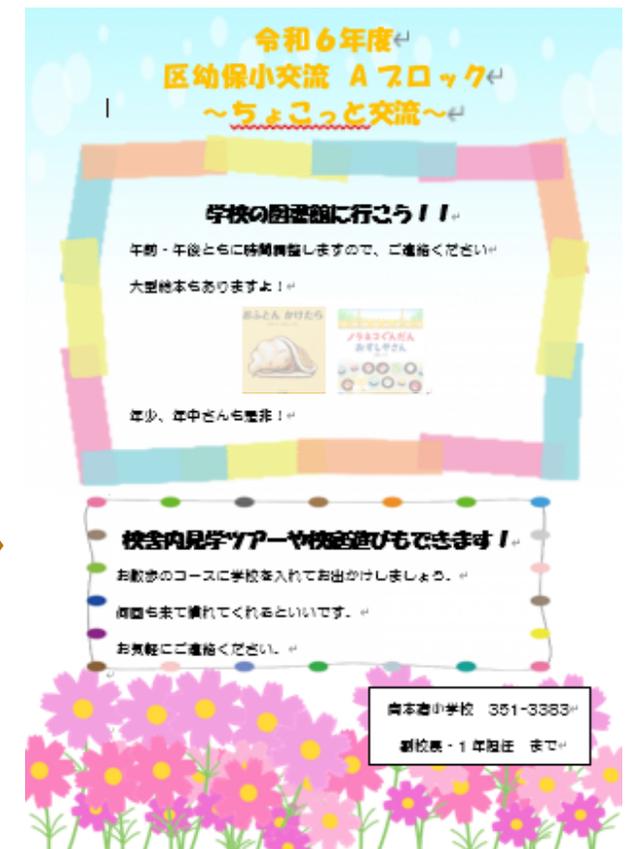
# 巨大絵本で Let's Enjoy!

今年度購入 大型絵本

「おふとんかけたら」

「ノラネコぐんだん おすし屋さん」

大型絵本  
園で読み聞かせした絵本を小  
学校で再び読み聞かせする。  
1月からのちょこっと交流で



# 学校司書による読み聞かせ



知ってる！

## 【図書館交流】

乳児から年長児まで



いつでも来校できる環境を整備。  
学びをつなぐ視点から、図書を  
新規購入。

# 【教職員の職場交流】

夏休みに時間を設定し体験する

7月26日（金）

## 保育園



# 【教職員の職場交流】

夏休みに時間を設定し体験する

7月26日（金）

## 保育園



- ・時間ごとに活動は区切られていたが、予定が詰め込まれはなく1日の流れに余裕があるように感じた。そのことをふまえて、スタートカリキュラムは時間を決めずにゆとりをもった活動を計画する必要がある。
- ・遊ぶ時間は多いが、交通安全教室やプール、朝の会など小学校でも共通していることがあり、そこで身に付けた力が積み重なって小学校へ入学していることを実感することができた。
- ・時間の使い方が小学校と異なり臨機応変に対応する必要があると感じた。また、待ち時間の使い方も子どもが飽きない工夫がされていた。

# 【教職員の職場交流】

夏休みに時間を設定し体験する

7月26日（金）

## 保育園



- ・自分の意見を言葉で伝えることが難しい場面が多く意思をくみ取ることが大変だった。またお昼寝の指導が初めてだったが、子どもを決まった時間に寝かせることは意外と難しいと実感した。
- ・時間がきちっとわけられているわけではなく、遊びを交えながらゆっくりと過ごしているのが小学校との違いのように感じた。
- ・小学生に比べて、スキンシップが多く子どもとの距離感が難しく感じた。

# 【ちょこつと交流：1年】

5月30日

公園で遊ぼう

南本宿公園にお互い出かけて、一緒に遊んだ。



## 【3年間の成果】

- ★ 3年目となり、継続して職員同士も含めた交流ができたことが大きい。
- ★ 図書室交流・水泳体験（未実施）・給食交流など、より多角的に立案し、入学に向けて体験できた。
- ★ 無理なく安心して交流できたり、子どもの不安に感じることを予測して対応できたりして楽しい交流にすることができた。